

# 七十力マジ

一般社団法人旭川青年会議所 広報誌 2020



## INDEX:

### トップ対談

佐々木 通彦先輩 × 新谷 逸生  
旭川青年会議所シニアクラブ会長 第70代 理事長

### 例会・事業の紹介

メンバーメッセージ／活動軌跡





一般社団法人旭川青年会議所 第70代理事長

**新谷 逸生**

旭川青年会議所シニアクラブ 会長

**佐々木通彦 先輩**

**旭川JC創立70周年、烈夏七夕まつり第30回の節目の年に北海道地区大会への挑戦**

**新谷：**2020年は創立70周年、烈夏七夕まつり30回目、そして北海道地区大会旭川大会と大きなイベントが重なった年でした。

**佐々木：**まずは現役メンバー皆さんに伝えたいのは、このコロナ禍において大変な状況の中、1年間一生懸命活動されたことへ最大限の敬意とご苦労様という労いの言葉を伝たいと思います。

**新谷：**ありがとうございます。スケジュール含め様々な変化を強いられたなか「いま出来ることを精一杯行おう」とメンバーに声掛けしてきました、特に地区大会は開催ギリギリまでスケジュール変更があり、手法も従来のものではない新しいことへのチャレンジの連続でした。

**佐々木：**30年ぶりの地区大会、本当に疲れ様でした。フォーラムのweb配信、式典のライブ配信など新しいチャレンジは必ず歴史の1つとして刻むことができたと思います。残念だったのはシニアとして昔の仲間と旭川の地で再会できることを心待ちにしていましたが、それは来年の千歳での楽しみにしておきます。



**旭川夏まつり中止に伴い第30回烈夏七夕まつりは関係団体と創始の想いを共有する例会に**

**新谷：**また、今年の烈夏七夕まつり30回目の際は「創始の想い」をご講演いただき、本当にありがとうございました。例年と違う形での烈夏七夕まつりでしたが、関係団体の方々からは「歴史を知ることができて良かった」、「このような場を設えてくれて本当にありがとうございます」という声をたくさんいただきました。

**佐々木：**当日は「烈夏七夕まつり」を立ち上げた創始者の1人として、当時を思い出す機会をいただきありがとうございました。当時、まつりを創るにあたり前例のない買物公園の山車の運行などをを行うにあたっての関係団体への許可、申請から始まり数々の難題をこえていくことが大変だったと記憶しています。

ただ、当時このまつりを立ち上げに関わったメンバー全員が持っていた想いは将来、自分たちの子どもにこのまつりを創ったのは私たちだといえるようなまつりにしようという想いでした。それが今や孫と一緒に見ることができるのも本当に嬉しいことです。

これまで継続して続けてきた方々、関係団体すべての方々に感謝の気持ちで一杯です。今年30回目として盛大に行いたかった想いは来年31回目に思い切りぶつけてください。

**創立70周年を積み重ねてきた全員に感謝**

**新谷：**旭川青年会議所は今年創立70周年を迎えます。今までに準備を行っておりますが、70年という歴史の重さをまじまじと実感している最中であります。

**佐々木：**たしかに70年という歴史は重たいです。しかし、この歴史はその時代に旭川青年会議所メンバーとして関わってきた一人ひとりが築いてきた歴史です。誰がではなく、それぞれのJCメンバーがその時々で一生懸命にJC運動を行い、積み重ねた結果「JC70周年」を迎えることが出来たと思います。そういう意味では現役、シニアの皆さん一人ひとりに感謝ですね。

**新谷：**今年度私は「躍動」をテーマにしました。それは青年らしく活気に満ち溢れ、躍动感を持って今を本気で生きてほしいという想いからです。

**佐々木：**まさしくその通りで失敗を恐れずチャレンジしてほしい、自分たちの想い、エネルギーッシュな発想、若者らしい行動力を存分に發揮してほしい。失敗しても良い。失敗は成功のもとであり、失敗から学ぶものも大きい。我々シニアはどんなことでも応援する姿勢は変わらない、いつも相談に乗るし、最大限協力させてもらいます。



**25歳～39歳までの青年経済人を募集中**

**新谷：**ありがとうございます。喫緊の課題として会員拡大があります。今年はコロナ禍のなか会員拡大がなかなか行えていない現状があります。大変おこがましいお願いではありますが是非シニアクラブの協力をお願いしたいところでもあります。25歳から39歳までの子息がいらっしゃるシニアクラブの方々、ぜひともご入会を検討いただけたとあります。

**佐々木：**まちづくりを目的とする団体は様々ある、JCにしかできないこと、JCの強みをアピールすると良い。実際JCは行政などの繋がりは強いため、大きなこともチャレンジできると思います。

**新谷：**ありがとうございます。貴重なお話し本当にありがとうございました。

大きなイベントが重なる1年でしたが、佐々木会長を始めとするシニアクラブの皆様には日々ご支援いただき本当にありがとうございました。



旭川青年会議所シニアクラブの会長であり、第45代理事長の大先輩でもある佐々木通彦氏にお話を伺って参りました。

※多くの事柄についてお話を頂きましたが誌面の都合上、一部の掲載となっています。

# 咲く未来へ

## 第69回 北海道地区大会 旭川大会

2020.9.5 Sat - 6 Sun



### 9月第一例会 第69回北海道地区大会旭川大会

30年ぶりの地区大会、コロナ禍での開催のため日程縮小、webでのフォーラム配信、懇親会の中止、式典のライブ配信など開催に至るまで様々な困難を乗り越え、新しい地区大会として大きな歴史を刻むことができました。

平間実行委員長を始め佐々木総務部会長、宇山懇親部会長、清水事業部会長、筒井式典部会長の指揮のもと2日間、旭川青年会議所が一体となり、北海道地区協議会とともに大成功を収めることができました。



懇親会の場で主催である地区役員とともに地区大会をPR

### 1月第一例会 新年総会・新年交礼会

新年総会をもって2020年度体制が本格的にスタートしました。新年交礼会では北海道地区大会旭川大会のPRも行いました。

担当／総務委員会



### 10月第二例会 女性が企業の未来を救う! ～持続可能な企業を目指して～

2020年度の新会員11名が創り上げた新会員例会。労働力の減少を解決するためには女性の力が大きな役割を果たすことに気づき、どうすれば働きやすい環境を企業は作れるのか、また女性が働きやすい企業とはどんな企業なのか?をテーマに新会員全員の魂が込められた例会を実施しました。

担当／人財委員会



### 4月第一例会 旭川JC宣言の検証と今後

2010年代の運動指針として定めた旭川JC宣言について、オンライン上でメンバー同士が意見交換を行いました。

担当／創立70周年特別委員会



### 臨時総会・定時総会

7月の臨時総会で尾野次年度理事長が承認され、9月の定時総会にて、次年度へ向けて円卓を囲む役員候補者全員が承認され、顔ぶれも新たに2021年度の役員体制が決まりました。 担当／総務委員会



### コロナ対策支援 マスクの寄贈

新型コロナウイルス蔓延の中、入手が難しくなっているマスクですが、様々な業種が集うJCのネットワークを活かし、確保した3,000枚を、学校再開後の中学生の感染防止のために役立てていただき、旭川市教育委員会に寄贈しました。

担当／三役



ライブ配信動画のアーカイブはQRコードよりご覧いただけます。  
<https://youtu.be/H1VtKWTqaRc>



### 5月第一例会 市長対談 新型コロナウイルス(COVID-19)に伴う旭川の現状

旭川市における新型コロナウイルス感染症への現状と対策について西川市長より直接ご説明いただきました。密や対面を極力避けるとともに、市民により広く情報を発信する為にYouTubeにてライブ配信を行い、チャットでも質疑応答がなされました。市民向けの例会としてオンラインという新しい手法を用いた設えとなりました。

担当／政治経済委員会

例会は自己の学びや発信だけでなく、旭川JCの目的や理事長の所信、付随するさまざまな知識や意識の共有化を図る集まりです。明るい豊かな社会の実現に向けて皆で一つの方向に一体となって行動していくための場でもあり、JCI運動の要であり源であります。

遠山局長と雪合戦に参加した子ども達



人気のバナナボート



氷彫刻体験

雪合戦の試合

## わくわく ICE SQUARE in TOKIWA

### 2月第一例会 第61回旭川冬まつり支援事業

旭川市の冬を代表するおまつりを市民が楽しめる目線に立って考え、設えました。人気のスノーモービルに加えて、今年は雪合戦も執り行い、各世代の子どもたちに楽しんで貰うことができました。

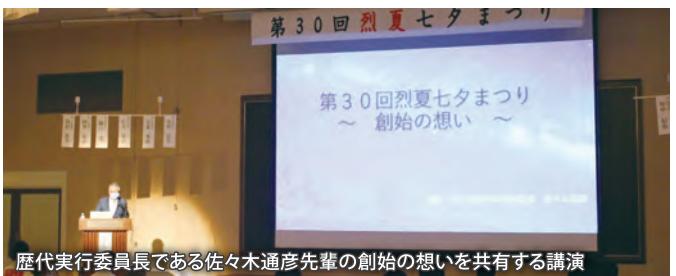
担当／まつり事務局



### 8月第一例会 第30回烈夏七夕まつり記念式典

毎年盛大に開催している烈夏七夕まつりですが本年は例年通りの開催は叶いませんでしたが、烈夏七夕まつりの「創始の想い」を佐々木通彦先輩にご講演いただき、想いを継承することができました。また第31回に向けて白半纏引継ぎ式は例年通り実施することができました。

担当／まつり事務局



歴代実行委員長である佐々木通彦先輩の創始の想いを共有する講演



白半纏引き継ぎ式の様子

秦顧問、堀顧問を交えてのディスカッション

烈夏七夕まつり  
例年の様子



烈夏七夕まつり

例会は自己の学びや発信だけでなく、旭川JCの目的や理事長の所信、付随するさまざまな知識や意識の共有化を図る集まりです。明るい豊かな社会の実現に向けて皆で一つの方向に一体となって行動していくための場でもあり、JC運動の要であり源であります。



## 7月第二例会 願い～旭川に大きな光と賑わいを～

新型コロナウイルス感染症の影響で2020年のおまつり、花火大会は軒並み中止となっていました。コロナ禍の状況下において夏の風物詩がなくなったことにより市民の心は不安に覆われていました。私たち旭川青年会議所は今できることを精一杯やろうと声を掛け合い、北海道新聞様の協力を得ることができ、花火の打ち上げを企画しました。旭川市民に「上を向いて元気になってもらいたい」という気持ちでサプライズ花火を打ち上げました。当日は打ち上げ直前に街頭告知を行いました。市民からは喜びの声を多数いただきました。

担当／まつり事務局



サプライズ花火のアーカイブは  
QRコードよりご覧いただけます。

<https://youtu.be/F6SATtxXgV4>

制作／UHB北海道文化放送



## 11月第一例会 SDGs推進例会

メンバー全員でSDGsについて、基礎的知識のおさらいと実際に旭川市内で取り組んでいる企業の事例をもとにSDGsについての知識を深め、個人、企業で取り組めることを学びました。

担当／広報渉外委員会

## 烈夏七夕まつり×SDGs



住み続けられる  
まちづくりを  
パートナーシップで  
目標を達成しよう

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsを紐づけることで  
事業の見える化、可視化、目的の明確化

## SDGsとは

持続可能な開発目標「SDGs」。2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。わたしたち(一社)旭川青年会議所が行う活動や事業を通して、SDGsを推進しております。

例会は自己の学びや発信だけでなく、旭川JCの目的や理事長の所信、付随するさまざまな知識や意識の共有化を図る集まりです。



## 10月第一例会 青少年よ未来へはばたけ! ～夢を描こう～

旭川市教育委員会を通じて旭川市内の小学5、6年生に自分たちの夢を描いてもらい、集まった734枚の夢がイオン旭川駅前店に2日間展示されました。

描かれた夢はどれも素晴らしい希望に満ち溢れた夢ばかりでした。展示された作品の中から一般の方からの投票に選ばれた児童に職業体験を通じて、夢の体験をしていただきました。

担当／旭川創生委員会

入選した子ども達の職場体験の様子



イオンモール旭川駅前4階のホールにて展示しました



旭川市内各小学校から合計734枚の絵画が集まりました



## あさひかわナナカマド基金

まちづくり・人づくりのために積極的な活動をする市民団体やボランティア、旭川の活性化を目指す団体を応援したい想いから、2013年10月28日に設立し、毎年たくさんの応募をいただいております。

担当／旭川創生委員会

### 基金の沿革

2014年度～旭川地区サッカー協会 第3種事業委員会

2016年度～WORKSHOP COLLECTION／

特定非営利活動法人もりねっと北海道

2017年度～旭川ラーメン応援チアダンスプロジェクト／北柔会

2019年度～子育て支援団体 よつばのクローバー／

旭川市少年少女オーケストラ



## w e b会議

2月、新型コロナウイルス蔓延の中、旭川青年会議所はw e bによる会議を早々に導入し、今私たちはなにができるのか、どうすれば市民の不安な心を払拭できるかを会議しました。

その結果、マスク寄贈、花火などコロナ禍においても市民のための運動を展開することができました。



## 広報誌ナナカマドの由来

1964年、旭川青年会議所は、緑橋通りの緑化運動を行い、ナナカマドを植樹しました。ナナカマドの木は、現在ではイルミネーションで美しく飾られ、緑橋通りの象徴となっていますが、植樹が契機となり、1976年ナナカマドが、「旭川の木」として制定されました。以上のことからナナカマドは、旭川青年会議所の歴史を作った木でもあり、広報誌の名前も「ナナカマド」となりました。

お問い合わせ先 平日10:00~17:00まで

**TEL.0166-22-9815**

(一社)旭川青年会議所まで

旭川JC

<https://www.asahikawa-jc.or.jp/>

Q.検索

W過去  
Eの広報誌  
Bサイトより



公式WEBサイト

公式facebookページ



(株)扇松園  
取締役支配人

高橋 宏典

2015年度 入会  
2019年度 副理事長／まちづくり室 室長  
2020年度 監事

私は旭川という「場所」が好きです。私は、2015年に旭川青年会議所に入会させていただいたことをきっかけに、今まで知っていたはずの旭川を、別な角度から知ることができました。旭川で生まれ育ち旭川で仕事をさせてもらひながら、「まちづくり」とは無縁だった私が、入会して6年経た今想う「まちづくり」とは、そこに暮らす人々に「ここが好きな場所だ」と気付かせ、そう思ってくれる人を増やしていくことだと思いました。

J Cには卒業があり、本年度で私は卒業しますが、「まちづくり」に卒業はありません、時代と共に自分自身も変化し成長し続けていきたいと思います。



(株)くどう  
専務

工藤 貴弘

2019年度 入会  
2020年度 創立70周年特別委員会 副委員長

2019年に入会し、今年で2年目を迎めました。入会当初は私ごとですが妻が双子の妊娠出産を機に、家庭と仕事の両立に追われおりました。それに伴いJ C活動に思うように参画出来ない期間、周りのメンバーに支えていただけたこと感謝しております。本年度は70周年特別委員会として、北海道地区大会旭川大会に携わらせていただきました。コロナ禍の中web配信という新たな試みで開催された式典部会の司会を担当させていただきました。これら様々な活動を通じ旭川、北海道のことを見つめ直し気づく機会に恵まれました。一個人、一企業では成し得ないことを成し、また多くの出会いと繋がりを得ることができたのはJ C活動の恩恵だと確信しています。今後も多くをインプットするのはもちろん、地域へ還元して行きたいと思います。



(株)陽菜館  
代表取締役

石坂 圭

2020年度 入会

「娘にとって誇れる母親でありたい」そんな想いを抱いて今年入会を決意しました。「とにかく精一杯自分にできることをやる!」この想いで活動をしてきた結果、沢山の「学び・気づき」がありました。沢山の出会いの機会もいただきました。沢山の仲間もできました。J Cは、自分を成長させてくれる沢山の機会があります。残り一年!悔いの残らぬよう、一日一日を大切に、活動していきたいと思います。そしてこれから地域活性化の為には、女性の活躍も必要だと考えます。J Cという場所は、地域活性化の為「女性も大いに活躍できる場所」なんだという事を、もっと旭川の女性に伝えていけるよう意識し、次年度の活動をしていきたいと考えております。

1月	定期総会／新年交礼会／卒業生を送る夕べ (公社)日本青年会議所 京都会議	7月	7月第一例会 臨時総会 7月第二例会 頼い～旭川に大きな光と賑わいを
2月	旭川冬まつり支援事業(2月第一例会) わくわくICE SQUARE in TOKIWA (公社)日本青年会議所 金沢会議	8月	8月第一例会 第30回 烈夏七夕まつり記念式典
3月	3月第一例会 新会員仮配属式 3月親睦事業(中止)	9月	北海道地区協議会 第69回北海道大会旭川大会(9月第一例会) 9月第二例会 定時総会
4月	旭川市教育委員会へ3,000枚のマスクを寄贈 4月第一例会 旭川JC宣言の検証と今後	10月	北海道地区協議会 第51次北方領土返還要求現地視察大会 (公社)日本青年会議所 第69回全国大会北海道札幌大会
5月	5月第一例会(市長例会) 新型コロナウイルスに伴う旭川の現状と対策	11月	北海道地区協議会 J Cフェスティバル2020(web) 10月第一例会 青少年よ未来へはばたけ!～夢を描こう～ 10月第二例会(新会員例会) 女性が企業の未来を救う!～持続可能な企業を目指して～
6月	6月第一例会 みんなで元気になろう!JC運動とコロナの共存	12月	11月第一例会 SDGs推進例会 11月第二例会 創立70周年記念式典・祝賀会 11月第三例会 卒業生例会 12月第一例会 意気込み例会 12月親睦事業 J Cクリスマスパーティー